

2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年1月31日

上場会社名 株式会社LITALICO 上場取引所 東
 コード番号 7366 URL https://litalico.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 敦弥
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 辻 高宏 (TEL) 03(5704)7355
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	14,567	-	1,700	-	1,560	-	812	-
2021年3月期第3四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 812百万円(-%) 2021年3月期第3四半期 -百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	22.86	22.73
2021年3月期第3四半期	-	-

(注) 1. 当社は2021年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(注) 2. 当社は、2021年4月1日の株式交換、吸収分割及び現物配当により新たに子会社が連結対象になったことに伴い、2022年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2021年3月期の実績はありません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	12,399	5,448	43.0
2021年3月期	-	-	-

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 5,327百万円 2021年3月期 -百万円

(注) 当社は、2021年4月1日の株式交換、吸収分割及び現物配当により新たに子会社が連結対象になったことに伴い、2022年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2021年3月期の実績はありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	-	0.00	-	5.00	5.00
2022年3月期	-	0.00	-	-	-
2022年3月期(予想)	-	-	-	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 2022年3月期第3四半期末配当金の内訳 記念配当 0円00銭 特別配当 0円00銭

(注) 1. 2021年3月期までの配当金については、子会社である株式会社LITALICOパートナーズが、2021年3月期末に当時5円00銭(注2における、株式分割遡及修正値2円50銭)の配当を実施しております。

(注) 2. 当社は2021年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

(注) 3. 2022年3月期配当予想として、2021年3月期遡及修正値2円50銭の倍となる5円00円を決定いたしました。

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

連結業績予想に関する序文

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	-	2,500	-	2,200	-	1,200	-	33.75

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は2021年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 2社 (社名) 株式会社LITALICOパートナーズ、福祉ソフト株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2022年3月期3Q	35,608,912株	2021年3月期	-株
2022年3月期3Q	2,230株	2021年3月期	-株
2022年3月期3Q	35,542,401株	2021年3月期3Q	-株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 当社は2021年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、(4) 発行済株式数 (普通株式) 欄を記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、2021年4月1日付の株式交換により株式会社LITALICOパートナーズ（旧商号：株式会社LITALICO）の完全親会社となり連結いたしました。株式交換の前後でLITALICOグループにおける連結の範囲に実質的な変更はないため、前年同四半期と比較を行っている記載項目については、株式会社LITALICOパートナーズの2021年3月期第3四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年12月31日まで）と、また、前連結会計年度末と比較を行っている項目については、株式会社LITALICOパートナーズの2021年3月期連結会計年度末（2021年3月31日）と比較しております。

（1）経営成績に関する説明

（単位：百万円）

	2021年3月期 第3四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）	2022年3月期 第3四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）	増減額	増減率
売上高	11,839	14,567	2,727	23.0%
営業利益	1,230	1,700	470	38.2%
経常利益	1,060	1,560	499	47.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	655	812	157	24.1%

（単位：百万円）

セグメント別業績		2021年3月期 第3四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）	2022年3月期 第3四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）	増減額	増減率
LITALICO ワークス 事業	売上高	5,727	6,372	644	11.3%
	利益	2,141	2,531	390	18.2%
LITALICO ジュニア 事業	売上高	4,165	4,979	813	19.5%
	利益	779	943	164	21.1%
LITALICO プラットフォーム 事業	売上高	676	1,307	631	93.2%
	利益	24	132	107	432.4%
その他	売上高	1,269	1,907	637	50.2%
	利益	△237	△26	210	-

（注） 第1四半期連結会計期間より、従来「LITALICOジュニア事業」に含まれていた「LITALICOジュニアパーソナルコース」を「その他」に区分する方法に変更しております。

当社グループは「障害のない社会をつくる」というビジョンのもと、2005年の設立時より障害福祉領域において事業を展開してまいりました。現在全国250拠点以上で就労や学びを支援するサービスを提供しております。加えて、プログラミング等一般教育分野への展開も進めております。さらに、これらの施設運営で培ってきたノウハウを活用し、障害福祉領域におけるインターネットプラットフォームサービスを展開しております。自社運営の施設サービスとインターネットプラットフォーム事業を組み合わせることで、より高品質のサービスをより多くの方々へ提供し、ビジョンの実現を目指しております。

当社グループは個人向けサービスとしてLITALICOワークス、LITALICOジュニアスタンダードコース、LITALICOジュニアパーソナルコース、LITALICOワンダー、LITALICOライフの5サービスを、また施設や従事者向けのインターネットプラットフォームサービスとしてLITALICO発達ナビ、LITALICO仕事ナビ、LITALICOキャリアの3サービスを運営しております。

LITALICOワークスは、働くことに障害のある方への就労支援サービスで、PCスキルや履歴書添削など職業訓練や

企業の人事担当者との調整等を行います。また、就職した方の職場定着をサポートするサービスも提供しています。1988年に1.6%で設定された法定雇用率は段階的に引き上げられ、2021年3月には2.3%となりました。また、2018年に障害者雇用義務の対象に精神障害者が加わる等、障害者雇用における社会的要請は年々強まっております。しかしながら、2021年における法定雇用率達成企業の割合は47.0%と半数を割り込んでおり、当社の就労支援サービスの拡大余地は引き続き大きいと考えられます。

LITALICOジュニアは、子ども一人ひとりの個性に合わせた学びを提供する幼児教室・学習教室で、言語発達における支援や机上課題、ソーシャルスキルトレーニングやペアレントトレーニング等を提供しています。少子化の中において、全国の小・中・高等学校における通常学級に在籍しながら必要に応じて別室等で授業を受ける「通級指導」の対象者は継続的に増加している等、発達障害に関する社会的認知の広がり等から一人ひとりの個性に合わせた教育機会を提供する当社サービスの必要性は高まっていると考えられます。

LITALICOジュニアスタンダードコースでは、児童発達支援施設の運営及び放課後等デイサービスのほか小学校や幼稚園等に訪問し直接的・間接的にサポートする保育所等訪問支援等のサービスを提供しております。

LITALICOジュニアパーソナルコースでは、特に短期集中型の手厚い指導に特化した教育プログラムを提供しております。

LITALICOワンダーは、テクノロジーを活かしたものづくりを通して、子どもの個性に合わせ、創造力を育む学びの場を提供するサービスで、プログラミングやロボット製作等を教室及びオンラインで提供しています。当社の持つ一人ひとりの個性に合わせるヒューマンサービスのノウハウを活かし、個々人に合わせたサービス提供ができることが特色です。プログラミング教育の必修化等があり、需要は拡大しています。

LITALICOライフは、自分らしい人生を歩んでいけるよう、一人ひとりちがう興味や課題に合わせた情報提供やライフプランの設計を支援するサービスです。これまでに多くのご家族の相談に応じてきた知見を活かし、お子さまの進路や就職、老後資金等の将来設計について等の情報提供を行っています。

LITALICO発達ナビは、発達が気になる子どもを育てるご家族が必要な情報を共有するプラットフォーム「LITALICO発達ナビ」を運営しています。さらに、子どもの育ちを支える発達支援施設向けに集客や運営・経営支援、人材育成等のサービスを、またオンラインで当事者家族向けに相談サービス「発達ナビPLUS」を提供しています。

LITALICO仕事ナビは、働くことに障害のある人が自分に合った仕事や就労支援サービスを探せる就職情報サイト「LITALICO仕事ナビ」を運営しています。また、障害のある方に対する就労支援施設向けの集客支援や障害者採用を行う企業への人材紹介等を行っています。

LITALICOキャリアは、障害福祉業界で働く人の転職サービス及び福祉施設の採用支援サービスを提供しています。福祉施設で働く従事者数は年々増加しており、福祉施設や従事者のマッチングサービスへの需要も今後高まることが予想されます。

以上に加え、障害福祉施設や介護施設向けに請求管理システムを提供する福祉ソフト株式会社を連結子会社としており、インターネットプラットフォームサービスにおけるSaaS領域の一層の充実を図っております。

当社グループは事業部を基礎としたサービス別にセグメントを構成しており、LITALICOワークスを「LITALICOワークス事業」セグメント、LITALICOジュニアスタンダードコースを「LITALICOジュニア事業」セグメント、LITALICO発達ナビ、LITALICO仕事ナビ、LITALICOキャリア及び福祉ソフト株式会社を「LITALICOプラットフォーム事業」セグメントとし、以上3事業を報告セグメントとしております。

セグメントごとの業績は以下の通りです。

<LITALICOワークス事業>

LITALICOワークス事業については、LITALICOワークスにおいて当第3四半期連結累計期間で新規に開設した12拠点の集客も順調に推移しており、累計で104拠点となりました。各拠点の運営が堅調に推移していることにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,372百万円（前年同四半期比11.3%増）となりました。また、引き続き高水準で就職者数及び定着者数が推移していることから、既存拠点の報酬単価が増加したことにより収益性が向上しております。その結果、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益は2,531百万円（前年同四半期比18.2%増）となりました。

<LITALICOジュニア事業>

LITALICOジュニア事業については、当第3四半期連結累計期間で新規に12拠点を開設し、累計で112拠点となりました。LITALICOジュニアスタンダードコースにおける既存拠点の利用率が引き続き堅調であったことに加えて新規に開設した拠点の集客も順調に推移しました。また、既存拠点における訪問支援事業の拡大により、収益性が向上しております。当第3四半期連結累計期間の売上高は4,979百万円（前年同四半期比19.5%増）、セグメント利益は943百万円（前年同四半期比21.1%増）となりました。

<LITALICOプラットフォーム事業>

LITALICOプラットフォーム事業は、従来のサービスに加え、福祉ソフト株式会社の請求管理ソフトとのパッケージ販売を開始しており、SaaS型プロダクトを中心に、順調に契約施設数の増加ペースを加速しています。また、LITALICOキャリアにおいても契約施設数及び採用支援サービスが拡大しております。更に、契約施設数増加ペースの加速を目指しマーケティング施策の強化、営業やエンジニア人員の増強など積極的な先行投資を継続しております。当第3四半期連結累計期間の売上高は1,307百万円（前年同四半期比93.2%増）、セグメント利益は132百万円（前年同四半期比432.4%増）となりました。

<その他>

LITALICOジュニアパーソナルコースにおいては出店を再開したこと等により、新規問い合わせ数が順調に増加しております。当第3四半期連結累計期間の新規拠点開設数は4拠点で累計26拠点となりました。LITALICOワンダーについてはオンラインコースの拡充等を通じて新規問い合わせ数が順調に増加し、オンライン・教室ともに生徒数が増加し、マーケティングへの積極投資を行いながら黒字化を達成しております。LITALICOライフについては、オンラインでの契約が可能になるなど規制緩和を受けて、全国を対象に多様なテーマにてセミナーを行い、サービス提供地域を拡大するなど引き続き投資を行っております。また、人員の増強など成長に向けた投資を積極的に進めています。当第3四半期連結累計期間の売上高は1,907百万円（前年同四半期比50.2%増）、セグメント利益は△26百万円（前年同四半期比210百万円改善）となりました。

また、各事業が堅調に推移していることから、エンジニアやマーケティング、事業リーダー人材の採用及び体制強化等の人材投資を行っています。以上の結果、売上高は14,567百万円（前年同四半期比23.0%増）、営業利益は1,700百万円（前年同四半期比38.2%増）となりました。

経常利益は、株式会社Olive Unionへの持分法投資損失を154百万円としていることから、1,560百万円（前年同四半期比47.1%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、新型コロナウイルスに関連する一時的な費用33百万円を特別損失に計上したことに加えて、一部グループ会社が先行投資期にあることから今期に関しては実効税率が上昇した影響があり、812百万円（前年同四半期比24.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して1,944百万円増加し、12,399百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加710百万円、業容拡大による売掛金の増加354百万円、拠点開発に伴う有形固定資産の増加196百万円によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、主に税金の支払により未払法人税等が483百万円減少したものの、借入金が1,337百万円増加したことにより、前連結会計年度末と比較して1,085百万円増加し、6,950百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して858百万円増加し、5,448百万円となりました。これは主に親会社株式に帰属する四半期純利益の計上812百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想及び配当方針につきましては、2021年5月10日に公表いたしました「連結業績・配当予想の決定及び期末配当の決定に関するお知らせ」から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間
(2021年12月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,949
売掛金	3,259
その他	480
貸倒引当金	△4
流動資産合計	5,685
固定資産	
有形固定資産	
建物附属設備(純額)	1,398
工具、器具及び備品(純額)	907
有形固定資産合計	2,306
無形固定資産	
のれん	985
ソフトウェア	720
その他	333
無形固定資産合計	2,039
投資その他の資産	
投資有価証券	1,320
敷金及び保証金	649
繰延税金資産	367
その他	32
投資その他の資産合計	2,368
固定資産合計	6,714
資産合計	12,399

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間
(2021年12月31日)

負債の部	
流動負債	
短期借入金	500
1年内返済予定の長期借入金	1,350
未払法人税等	254
賞与引当金	405
その他	1,135
流動負債合計	3,645
固定負債	
長期借入金	3,298
その他	6
固定負債合計	3,305
負債合計	6,950
純資産の部	
株主資本	
資本金	423
資本剰余金	756
利益剰余金	4,446
自己株式	△298
株主資本合計	5,327
新株予約権	120
純資産合計	5,448
負債純資産合計	12,399

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	14,567
売上原価	8,965
売上総利益	5,602
販売費及び一般管理費	3,901
営業利益	1,700
営業外収益	
助成金収入	22
違約金収入	1
その他	3
営業外収益合計	27
営業外費用	
支払利息	12
持分法による投資損失	154
その他	2
営業外費用合計	168
経常利益	1,560
特別利益	
新株予約権戻入益	3
特別利益合計	3
特別損失	
固定資産除却損	8
新型コロナウイルス感染症による損失	33
特別損失合計	42
税金等調整前四半期純利益	1,521
法人税、住民税及び事業税	708
法人税等合計	708
四半期純利益	812
親会社株主に帰属する四半期純利益	812

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
(自2021年4月1日
至2021年12月31日)

四半期純利益	812
四半期包括利益	812
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	812

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社グループは、2021年4月1日に株式交換、吸収分割及び現物配当など一連のグループ内組織再編を実施しました。この結果、第3四半期連結累計期間において、資本金が377百万円増加、自己株式が298百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が423百万円、自己株式が298百万円となっています。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

2021年4月1日に行われた株式交換及び吸収分割、現物配当など一連のグループ内組織再編に伴い、株式会社LITALICOパートナーズ(旧商号:株式会社LITALICO)、株式会社LITALICOライフ、福祉ソフト株式会社を第1四半期連結会計期間より当社の連結の範囲に含めており、株式会社Olive Unionを、当社の持分法適用関連会社としております。なお、株式会社LITALICOパートナーズ、福祉ソフト株式会社は当社の特定子会社に該当しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取れると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、ライフプランニング事業のサービスの提供について、従来は一時点で収益を認識しておりましたが、履行義務の識別及び充足時点について検討した結果、一部のサービス提供については一定期間にわたり収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。

(新型コロナウイルス感染症の影響による会計上の見積りへの影響)

当社グループは、新型コロナウイルス感染症対策として衛生管理等を徹底した上でサービスを提供しており、財政状態及び経営成績に与える重要な事象は生じておりません。本書提出日現在においてもサービス提供を継続しており、新型コロナウイルス感染症の今後の広がりや収束時期等に関わらず、当社グループの業績への重要な影響はないものと仮定し、会計上の見積りには織り込んでおりません。ただし、新型コロナウイルス感染症による影響には不確実性が伴い、実際の結果は異なる可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 財務諸表計 上額
	LITALICO ワークス事 業	LITALICO ジュニア事 業	LITALICO プラットフ ォーム事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,372	4,979	1,307	12,659	1,907	14,567	-	14,567
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	-	-	89	89	537	626	△626	-
計	6,372	4,979	1,397	12,749	2,444	15,194	△626	14,567
セグメント利益 又は損失(△)	2,531	943	132	3,607	△26	3,580	△1,879	1,700

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、LITALICOジュニアパーソナルコース、LITALICOワンダー、LITALICOライフの各サービスを含んでおります。

2. 調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。